

# 地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2021年5月25日
作成 高齢者支援センター	町田1
作成者	齋藤美和子

1.開催日時	2021年5月24日	(月)	19:00	～	20:15
2.会場	zoomによるリモート				
3.主催センター	町田1 ・ 町田2 ・ 町田3				
4.参加人数	19人				
5.参加者内訳	市役所	4人	ケアマネ	1人	
	病院	1人 (うち、医師	1人)	歯科医	2人
	薬剤師	1人	人	医療関係者	2人
	センター	8人	人	人	
	(				)
6.開催テーマ	おくすり手帳の活用事例の検証と情報共有				
7.地域課題	(1) 課題設定の背景				
	<p>①2020年度の取り組んだおくすり手帳活用カバー試用を経て、おくすり手帳の活用事例検証が必要との意見が上がった</p> <p>②3.22開催の地域ケア推進会議においてコロナ禍における地域の変化や連携の在り方について個別事例から課題定義された</p>				
8.会議の内容	(2) 検討した地域課題				
	<p>①継続して取り組んでいるおくすり手帳の活用について、活用事例を検証するため、事例シートを作成し、専門職へ意見を求めることが必要である</p> <p>②コロナ禍における地域課題の変化について把握する必要がある</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>○おくすり手帳の活用を目的としたカバーの試用の取組について町プロ協議会で報告、今後仕様を改良し、全域での活用を検討していく。おくすり手帳を活用し、本人を中心とした情報共有・連携を図ることも合わせて普及していきたい</p> <p>○おくすり手帳を使った連携事例シートを作成し、会議参加者へ配布した。今後連携事例の検証を行う</p> <p>○前回上がった課題の検討</p> <p>①外出自粛・その長期化によるフレイルリスクの上昇について、市の取り組み・各センターの取り組みを共有する。口腔機能検診の受診数も減少、外出阻害要因が家族の心配である場合も多い</p> <p>②認知症への早期対応(支援が必要な方の発見。早期介入・受診支援)各センターの取り組みについて参加者で共有を行う。個々機関の対応では難しく、早期に連携体制をとること・家族に現状を認識してもらうことが肝要、初期集中支援チーム等の周知が不足しているのではないか</p>				